

突然やってくる自然災害 防災対策していますか？



◀「指定緊急避難場所」および「指定避難所」の看板。ハザードマップや地域の避難場所を確認し、災害時の避難経路や集合場所を家庭で話し合っておきましょう。



▶地震発生時の家具や家電の転倒・落下を防ぐため、L字金具や突っ張り棒などで固定しましょう。



非常持出品・非常備蓄品の一例。非常持出品は、玄関等すぐに持ち出せる場所に保管し、非常備蓄品は家族が一週間程度生活できる物資を備蓄しておきましょう。

9月1日は「防災の日」

地震や集中豪雨などの自然災害は突然発生し、甚大な被害をもたらします。近年は南海トラフ巨大地震が懸念されているほか、台風や集中豪雨による洪水など自然災害の脅威にたびたび直面しています。こうした災害に備えるため、家庭での防災対策が重要です。例えば、貴重品や飲料水など避難の時に持ち出す「非常持出品」、救援物資の到達やライフラインの復旧まで生活をするための「非常備蓄品」を準備することが挙げられます。また、

地域のハザードマップや避難場所・避難所を確認し、災害が発生した時にどのように行動するのかを家族で話し合っておくことも重要です。ほかにも、家具を固定するなど家庭でできる防災対策はたくさんあります。災害はいつ起こるか予測ができません。一人ひとりの防災意識を高め、いざという時のためできる限りの備えをしておきましょう。【関】都市防災政策課・防災対策課 ☎267-4763 【関連記事】防災特集は6～7面をご覧ください。

スロバキアは、日本と同様に高いレベルにある卓球に加え、カヌー競技も強く、昨年日本代表としてリオデジャネイロ・オリンピックで銅メダル(カヌー・スラローム)を獲得した羽根田卓也選手も10年以上にわたりスロバキアで練習をしています。大会前後には選手ばかりではなく、同国から多くの観光客にも岐阜市を訪問してほしいものです。スロバキアの首都ブラチスラバ市は人口約43万人、ドナウ川に面する小高い丘にブラチスラバ城が聳(そび)え、また、岐阜城を頂(いただ)く金華山の麓(ふもと)を長良川が流れる、人口41万人の岐阜市とうり二つです。同市のファルカソプスカ副市長との面談時にも将来に向けて両市の都市間交流を活発にしていきたいこと、意見の一致をみました。「信長公のおもてなし」の心でスロバキアの人々をホスト(おもてなし)しようではありませんか。

また、東京オリンピック・パラリンピックの参加国と地域が人的・経済的・文化的交流を図ることで大会のレガシー(遺産)を地方にも残し、結果として地域のグローバル化、活性化、観光振興を図ろうとする「ホストタウン」構想も重要な取り組みです。今年7月現在、全国で179件が登録されており、岐阜市もスロバキア共和国のホストタウンとして登録されています。今年度「岐阜市ホストタウン推進本部」を設置し全市を挙げての取組体制を構築するとともに、7月にはスロバキアを訪問し、かつて駐日本国大使の経験もあるライチャーク外務・欧州問題担当大臣やスロバキア・オリンピック委員会のシケル会長をはじめ、同国のパラリンピック委員会会長、卓球連盟会長、カヌー連盟会長とも面談の上、事前合宿や市民との交流などについて協議を行うとともに岐阜市への視察の要請を行いました。

現在2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、急ピッチで国を挙げての準備作業が進められています。大会用の競技施設、選手や観客のための宿泊施設、輸送手段や道路整備など大会開催地域における直接的な投資にとどまらず、その効果を地方にも波及させるためのさまざまな取り組みも行われています。一昨年、地方の潜在的観光資源の発掘のため「日本遺産」の認定制度が始まり、岐阜市の「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜がその第一号認定を受けたのは記憶に新しいところです。折からの世界的な観光ブームを追い風とした積極的な外国人観光客の誘致活動の結果、2020年の目標2千万人に対し、2016年の訪日外国人観光客は2千400万人を上回る結果となりました。今年2017年はひよっとすると3千万人にも届かんとする勢いです。

市長の
*元気
*宅配便(330)
平成29年9月1日号

スロバキア共和国の
ホストタウン・岐阜市
市長 細江茂光

メディコスまつり
ふ・ど・あ

【期日】10月15日(日)
【場所】ぎふメディアコスモス(司町40-5)

市民でつくりあげる市民のための秋のイベント「メディコスまつりフム・ドキ・ワイワイ」を開催！みんなのホールでのバイオリン演奏、ドキドキテラスでのダンスショーやおはなし会、各スタジオでのワークショップなど、盛りだくさんのプログラムを実施します。屋外では駐車場チョークアート企画や飲食ブースも出店します。※詳しくはぎふメディアコスモスホームページをご覧ください。☎市民活動交流センター☎264-0011

◎チョークアート企画展を開催 ◆期間 9月1日(金)～10月14日(出)
◆場所 ぎふメディアコスモス つくるスタジオ前

さんぽde野外ライブtoスペシャルライブ
～万照とゆかいな仲間たち
“昭和歌謡音楽祭”～

【日時】11月5日(日)午後6時～8時
【場所】市民会館大ホール(美江寺町2-6)



岐阜市出身のサクソ奏者・野々田万照さんによるスペシャルライブ。ボーカルには8代目うたのおにいさん・速水けんたろうさん、平成のおんなギター流し・おかゆさんを迎え、昭和歌謡バンド「ダイナマジック」、岐阜市民JAZZビッグバンド「楽市JAZZ楽団」の演奏による豪華ライブが繰り広げられます！◆料金(全指定席) 一般1,000円(前売・当日とも) ◆前売日時・場所 9月7日(木)午前10時から市民会館で。翌8日(金)からは文化センターでも発売。☎文化芸術課☎214-4973

柳ヶ瀬ジュラシックアーケード2017

【日時】9月9日(土)・10日(日)午前10時～午後5時
【場所】柳ヶ瀬商店街一帯

今年も柳ヶ瀬にリアルな恐竜が出現！10体の恐竜ロボットを巡るスタンプラリー、化石発掘体験、ワークショップなどイベントが盛りだくさん！約60店舗の協賛店では当日限定の特別サービスもあります。☎岐阜と真ん中夏まつり実行委員会(岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会内)☎262-6261



長良川うかいミュージアムへ行こう

●特別展示「長良川鶴飼に魅せられた文学者
一川端康成、柳原白蓮、北原白秋、岐阜ゆかりの作家」

長良川鶴飼を表現した文学者やその作品を紹介。イラストレーター・あべちほさんによる川端康成の小説をイメージした描き下ろしイラストも展示。◆期間 10月23日(月)まで ◆開館時間 午前9時～午後7時(10月16日(月)以降は午後5時まで) ※入館は30分前まで ◆展示室観覧料 大人500円、小人250円 ◆休館日 10月17日(火)

●月見茶会・琴のコンサート

今年は、信長公450プロジェクトにあわせ、「信長公と茶の湯について」の講話も実施。有志団体「信長公おもてなし茶の湯」のお点前と「今尾圭子琴ぐるーぷ」の琴の演奏をお楽しみください。◆日時 10月4日(水)午後6時～8時(受付は午後5時40分～) ◆定員 60人 ◆参加費 800円 ◆申込 イベント名、代表者の氏名、郵便番号・住所、電話番号、参加人数(大人・小人別)を往復はがき、ファクスまたはEメールで9月6日(水)～10月2日(月)に長良川うかいミュージアムへ。先着順。

【共通】◆場所・☎ 長良川うかいミュージアム(〒502-0071長良51-2)☎210-1555・FAX 233-6658・✉info@ukaimuseum.jp

450協賛事業 岐阜文化再発見～民話の地を訪ねて～

織田信長公の追善菩提のために建立された大徳寺総見院(京都市)などを訪ねます。バスの中では信長公にちなんだお話の朗読と敷下浩さん(元歴史博物館館長)のお話をお楽しみください。

◆日時・場所(集合・解散) 10月20日(金)午前8時出発・午後7時ごろ解散/JR岐阜駅北口じゅうろくプラザ北団体バス乗降場 ◆定員 40人 ◆参加費 10,000円(昼食代などを含む) ◆申込・☎ 郵便番号・住所、氏名、年齢、電話番号をはがき(1枚1人)で9月22日(金)(必着)までに文化芸術課「岐阜文化再発見」係(〒500-8701今沢町18)☎214-4973)へ。申込者多数の場合は抽選。

織田信長公岐阜入城・岐阜命名450年記念事業

●9月のイベント情報

期日	イベント	場所
9月2日(土)～10月15日(日)の土日祝	岐阜城パノラマ夜景【協賛事業】	岐阜城
9月2日(土)・3日(日)	消費生活展【冠事業】	マーサ21
9月3日(日)	信長公音楽劇	長良川国際会議場
9月3日(日)	第347回市民の劇場「松竹大歌舞伎」【冠事業】	市民会館
9月7日(木)～10日(日)	開設68周年記念岐阜競輪 長良川鶴飼カップ【冠事業】	岐阜競輪場
9月8日(金)	第4回岐阜市文化再発見～「蛙と亀と智通上人」民話ライブ～【協賛事業】	立政寺
9月9日(土)	リレートーク【冠事業】	ハートフルスクエアG
9月9日(土)・23日(土)祝	信長塾【協賛事業】	歴史博物館
9月9日(土)～12月17日(日)	第30回岐阜市民芸術祭演劇「ぎふ演劇シーズン2017」【冠事業】	市内の劇場
9月10日(日)	世界中に友達を作ろう！その2【冠事業】	市内
9月10日(日)	第348回市民の劇場「音楽の絵本 JIVE」【冠事業】	市民会館
9月17日(日)	ふるさと岐阜 古地図散歩 関ヶ原合戦ゆかりの地【協賛事業】	岐阜城周辺
9月17日(日)・18(月)祝	ぎふ信長楽市【協賛事業】	中心市街地
9月17日(日)・18(月)祝	BRTトランジットモール【冠事業】	中心市街地
9月23日(土)祝	パスフェスタ2017inみんなの森 ぎふメディアコスモス【冠事業】	ぎふメディアコスモス
9月23日(土)祝	やまなみジョギング・ウォーキング大会【冠事業】	ながら川ふれあいの森
9月24日(日)	信長検定【協賛事業】	長良川国際会議場
9月24日(日)	第349回市民の劇場「高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニストコンサート2017」【冠事業】	市民会館
9月24日(日)	第30回岐阜市民芸術祭邦楽「心に響く 金華の調べ」【冠事業】	文化センター

※詳しくは信長公450プロジェクトホームページをご覧ください。☎実行委員会事務局(信長公450プロジェクト推進課内)☎213-0450

●テレビアニメ「名探偵コナン」岐阜市篇
9月2日(土)午後6時～放送！

読売テレビ、トムス・エンタテインメントと信長公450プロジェクトとのタイアップ企画として、テレビアニメ「名探偵コナン」の岐阜市を舞台にした回(第871話)が全国ネットで下記のとおり放送されます。450記念イベントを見に来ていたコナンたちが事件に巻き込まれていくストーリーで、信長公ギャラリーや長良川鶴飼など岐阜市のおなじみの景色が多数登場します。ぜひご覧ください！



▲岐阜市オリジナルストーリー「ノブナガ四五〇事件」の1シーン©青山剛昌/小学館・読売テレビ・TMS1996

◆放送局 中京テレビほか、読売テレビ、日本テレビ系列
◆タイトル ノブナガ四五〇(よんごうまる)事件

●大好評開催中！
「体感！戦国城下町・岐阜 信長公ギャラリー」

【期間】前期：9月24日(日)まで 後期：10月6日(金)～12月17日(日)
【時間】午前10時～午後6時 **入場無料**

【場所】ぎふメディアコスモス みんなのギャラリー(司町40-5)

信長公と岐阜

信長公のおもてなし 小和田哲男

「信長公のおもてなし」が日本遺産に認定されたことは記憶に新しい。信長といえば、どうしてもルイス・フロイスの『日本史』の一節、「彼はわずかしか、またはほとんどどまったく家臣の忠言に従わず、一同からきわめて畏敬されていた」と彼は日本のすべての王侯を軽蔑し、下僚に対するように肩の上から彼らに話をした」とあるのが印象深く、傲岸(ごうがん)無礼、あるいは高慢(ごうまん)不遜(ぶそん)そんなという言葉がぴったりと思っている人が多いかも。しかし、

ところが、岐阜城主時代の信長は意外なことに、おもてなしに心をくだいていたのである。その落差にびっくりするくらいで、たとえば、イエズス会日本布教長フランシスコ・カブラルを迎えたときなどは、食事までの待ち時間に信長自ら果物を運んでいり、彼らが肉を食べると聞くと、庭で飼っていた鳥を殺し、料理として出したほどである。信長がまだ甲斐の武田信玄と友好関係にあったとき、信玄の家臣秋山虎繁が岐阜を訪れたが、信長は食事や能で接待したあと、長良川に船を浮かべ、鶴飼を見物させていたことが知られている。現代に続く長良川の鶴飼を守り伝えたのが信長だったのである。

